

中学校第2学年 道徳学習指導案

日時 平成26年9月30日(火)第2校時
指導者 教育センター所員 副島 洋子

1. 主題名 『規則の意義』 【内容項目4－(1)法やきまり】
2. 資料名 「二通の手紙」 (出典『私たちの道徳』)
3. 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

本主題は、学習指導要領では、主として集団や社会とのかかわりに関することの項目に位置付けられ、「法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める」ことを具体的な内容としている。

法やきまりは、自分たちの生活を守るためにあり、それを遵守することの大切さについて自覚を促すこと、その意義を十分理解した上で、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育てることが重要である。

○生徒について

中学生になると社会の中での人間としての生き方について自覚が深まって、法や規則についてその意義を理解できるようになる。しかし、一方では、自分本位の考えを優先してしまい、「少しぐらいなら」という考えで、規則を守れない生徒も少なくない。

事前アンケートでは、集団生活の中で大切なこととして、規則を守ることと答えた生徒は35人中11人で、今までに規則を破ったことがあると答えた生徒は28人だった。そこで、明るくよりよい社会の実現のために、規則の意義を考えることによって、積極的に秩序と規律を高めようとする態度を育成したい。

○資料について

本資料は、動物園の模範的職員だった元さんが、幼い姉弟への同情心からきまりを破って入場させ、園内が大騒ぎになってしまい、その責任をとって自ら職を辞するという内容を扱ったものである。入園時間が過ぎ、保護者同伴ではないのに入園させてしまう元さんの行動は、心情的には理解できるものである。しかし、職員として入園についての規則を守りことも果たすべき義務であった。元さんの判断・行動の場面は、生徒にとって葛藤を引き起こすであろう。さらに、二通の手紙について考えることで、きまりの意義、自他の権利と義務について思考を深めることができる資料である。

○指導について

指導に当たっては、導入時には、事前アンケートの結果により、ねらいへの意識付けを図りたい。展開前段では、ネームプレートを活用し、自分自身の考えを意思表示させる。その上で、元さんの行為に賛成か反対かの理由を全体で交流させることにより、道徳的価値の自覚を深めさせたい。展開後段では、晴れ晴れとした顔で職場を去っていく主人公の心情に寄り添って考えさせることで、ねらいに迫りたい。

4. 本時のねらい

動物園の規則と入園者の事情の狭間で揺れる元さんの心情を通し、規則の意義を理解し、よりよい社会をつくろうとする道徳的判断力を養う。

5. 指導の視点

人間としての生き方を見つめさせるために、自分の考えを基に書いたり交流したりする活動に重点を置いた授業展開を行う。具体的には、展開前段では、主人公の行動の判断基準について意見交流を行わせる。それにより、規則について理解させたい。展開後段においては、晴れ晴れとした顔で職場を去っていく主人公の心情に寄り添って考えたことをグループで交流し、規則の意義について理解を深めさせたい。終末では、これまでの自分を振り返り、よりよい社会をつくろうとする意欲を養いたい。

6. 展開

	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入	1 きまりについてのアンケート結果からクラスの実態を知る。	○アンケート結果を見て、どう思うか。 ・きまりを破ったことがある人が多い。 ・集団生活で大切なことに、きまりよりも相手のことを思いやることを挙げた人が多い。	・きまりについてのアンケートの結果を提示することで、資料への導入を図る。
展開	2 資料の前半部分を読み、元さんの取った行動について考える。	○二人の子どもを入園させた元さんの行動に、賛成か、反対か。その理由は何か。 〈賛成〉 ・毎日動物園をのぞくほど見たがっていた。 ・弟の誕生日に動物を見せたいという姉の気持ちに感動した。 〈反対〉 ・入園時刻を過ぎている。 ・保護者同伴でなければならない。 ・姉の気持ちは分かるが、規則は守らなければいけない。	・ワークシートに立場と理由を書かせた後にネームプレートで意思表示させる。 ・全体で話し合わせる。
	3 資料の後半部分を読み、元さんの気持ちを考える。	◎元さんが晴れ晴れとした顔で職場を去ることができたのはなぜだろうか。 ・小さな規則の無視が思わぬ大事件につながり、たくさんの人に迷惑をかけてしまい、規則を守ることの大切さに改めて気付くことができたから。 ・今回の場合は子どもの命を守るために守らなければならない規則だった。規則には意味があるからどんな場合にも守らなければならないということに心底納得したから。 ・規則は自分たちの生活を守るためにあると気付いたから。 ・今回の場合は、規則を守ることが幼い子どもを思いやることであったことに気付いたから。	・考えを深める手順として、最初に晴れ晴れとした顔というのは、どのような心境の時にできるものかを考える。次に、母親からの手紙をもらったときの気持ちを考えさせる。次に懲戒処分を受けたのにそのような心境になれた原因は何かを考え、最後に元さんが規則についてどのような考えをもったのかを考えさせる。 ・グループで交流させた後に全体で話し合わせる。
終末	4 自分の生活を振り返る。	○「きまりを守る」ことについて、今日の学習を通して考えていることを書きましよう。	・実生活と照らし合わせて考えさせる。

7. 評価

元さんの心情を通し、きまりの意義を理解し、よりよい社会をつくろうとする道徳的判断力を養うことができたか。

二通の手紙

組 号氏名 ()

- 1 二人の子どもを入園させた元さんの行動に賛成ですか。反対ですか。その理由は何ですか。

ア賛成

イ反対

理由

- 2 元さんが晴れ晴れとした顔で職場を去ることができたのはなぜでしょうか。

* 友だちの意見でいいなと思った意見をメモしましょう。

- 3 「きまりを守る」ことについて、この学習を通して、考えていることを書きましょう。